

# 2016年度前期 学生による授業アンケート結果

教育開発委員会

## 【概要】

※2016（平成28）年度の『学生による授業アンケート』は、専攻演習Ⅰ・Ⅱ、受講生10名以下を除いて全科目で実施しました。（実施率71.8%）

※評価は5段階です。

（1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. 強くそう思う）

※前期は、7月19日～7月29日に実施しました。

## 目次

1. 全体の結果	1
2. 科目分野別の結果	2
3. 授業形態別の結果	4
4. 受講者数別の結果	6
5. 先生のアンケートから	8

## 1. 全体の結果

分野（基礎科目や基幹科目など）、授業形態（講義系や演習系、実習など）、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

①実施科目数 194科目

②質問項目別に見る平均

【表1】

設問		平均
1.	授業の概要と目的がシラバスに明記されており、授業内容と一致している	4.20
2.	成績評価の基準が明確に示されており、学生の努力を公正に評価しようとする意図が感じられる	4.17
3.	この授業で扱われている内容について、それらを学ぶ意義が実感できている	4.17
4.	聞き取りやすい声や見やすい板書、教材の効果的な使用・提示などにより、授業の内容がわかりやすく伝わっている	3.97
5.	教員は学習に適した環境を保つように努めている (私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.02
6.	教員は学生の積極的な参加（質問、発言、討論、練習、作業など）を促している	4.08
7.	授業内容や課題の難易度は、あなたの学習意欲を引き出すうえで適切である (1もしくは2に回答した人は、課題がやさしすぎるか難しすぎるかを自由記述に書いてください)	3.99
8.	授業により知識や技能が身につき、自分の成長を実感できる	3.99
9.	授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	3.99

## 2. 科目分野別の結果

\*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「英語」「現代教養」等に分類しています。

### ①実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目：基礎教養	3	文献講読基礎/文献講読/文献講読演習 a
基礎科目：日本語科目	1	日本語表現法 I
基礎科目：英語科目	5	EnglishReading I /EnglishWriting II /EnglishCommunication I /EnglishReading III /Grammar II
基礎科目：外国語(英語以外)	7	中国語 I a(中国語 I) /手話 II /手話 I a(手話 I) /ドイツ語 I a(ドイツ語 I) /中国語 I a(中国語 I) /スペイン語 I a(スペイン語 I) /韓国語 I a(韓国語 I)
基礎科目：現代教養	6	中国語文化入門/倫理学/法学/数学の基礎/女性学入門/経済学
基礎科目：スポーツ・保健	4	生涯スポーツ I /生涯スポーツ II /スポーツ文化論/心と身体の健康学
基礎科目：情報・文献	4	情報処理中級 A /文献検索法/情報文化論/情報処理リテラシー
基礎科目：導入・開発	1	フレッシュマン・セミナー A(長崎に生きる)
基幹科目	151	東洋の思想/地域文化研究(アジア文化論)/比較文化(方法)研究序説/キリスト教文化史/日本語学概論/地域文化(日本)研究序説/倫理学概論/西洋の思想/長崎とキリシタン文化/日本文化史/日本文学研究(文学史)/社会学 I /比較文化研究(長崎と西欧文化)/認知症の理解 II /相談援助演習 IV /社会福祉/社会的養護/児童家庭福祉/体育科教育法/福祉人権論/相談援助の理論と方法 III /地域福祉の理論と方法 I /福祉行財政と福祉計画/社会調査の基礎/現代社会と福祉 II /マクロソーシャルワーク/社会保障 I /老人ソーシャルワーク論/高齢者に対する支援と介護保険制度 I /相談援助演習 II /精神保健福祉に関する制度とサービス I /相談援助の理論と方法 I /相談援助/更生保護制度/相談援助の基盤と専門職 I /就労支援サービス/こころとからだのしくみ/医療的ケア/生活支援技術 E /ターミナルケア論/基礎介護実習指導/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I /生理心理学/心理学入門 I /教育心理学 II /障害者心理 I /心理学研究法/カウンセリング論 I (心理) /心理学実験 II a(応用) /生涯発達心理学 II /産業・組織心理学/人間心理学 I /TOEIC Advanced I /第二言語習得研究/精神分析療法/臨床心理学 I /権利擁護と成年後見制度/英文講読 III /英文講読 I /地域文化研究(英米文化研究特論) /日本語の構造 I /EnglishSeminar III /EnglishSeminar V /ThesisWriting/英語情報コミュニケーション I /英語情報コミュニケーション II /EnglishSeminar I /AcademicWriting I /AcademicReadings/EnglishAcademicReadings I /コミュニケーション入門/キャリアセミナー/SoundProduction/TOEIC I /児童英語/英米文学入門 I /統計情報処理演習/情報発信表現論/プログラミング演習 I /比較教育/保育原理/教育原理 A(教育原理) /生活科教育法/基礎音楽/音楽科教育法/人間関係論 II /心理学 I /発達と学習の心理学 II /発達と学習の心理学 I /保育者論/教育課程論/教育の基礎理論/基礎造形/図画工作科教育法/造形表現法 a /障害児の心理と教育/子どもと人間関係/教育指導の研究/社会科教育法/教職論/保育内容総論/子どもと環境 I /理科教育法/器楽/音楽基礎理論 I /ピアノ実践法/英米文学研究(文学史) /子どもの食と栄養 I /家庭科教育法/家政学概論/ピアノ基礎技法/リトミック I /マーケティング論 I /障害の理解 II /Grammar/ジェンダー論/数量と図形の理解/情報検索/児童臨床心理学/教育指導の研究 II /児童文化研究/障害児保育/比較文化研究(長崎の美術工芸) /乳児保育 I /日本史/自然地理学 I /地域文化研究特論/日英語対照研究/英語情報データベース/英語学概論 I /韓国語 I a(韓国語 I) /人文地理学/医学一般 I /体育あそびの研究 a /国語概論/子どもの保健 I a /精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III /BusinessEnglish/英語文化入門/社会心理学/子どもの造形 II /造形表現法 b /子どもの音楽 II /音楽表現法 b /福祉レクリエーション論/精神保健の課題と支援 I /保健医療サービス/日本の宗教/教育課程論 II /心理検査法 I /英語語彙演習
資格・免許に関する科目	12	事前事後指導/図書館情報技術論/日本語教授法 I /モンテッソーリ教育学特論 I /情報サービス論/図書館概論/学校経営と学校図書館/博物館実習/博物館教育論/学習指導と学校図書館/博物館資料論/情報メディアの活用

## 2. 科目分野別の結果

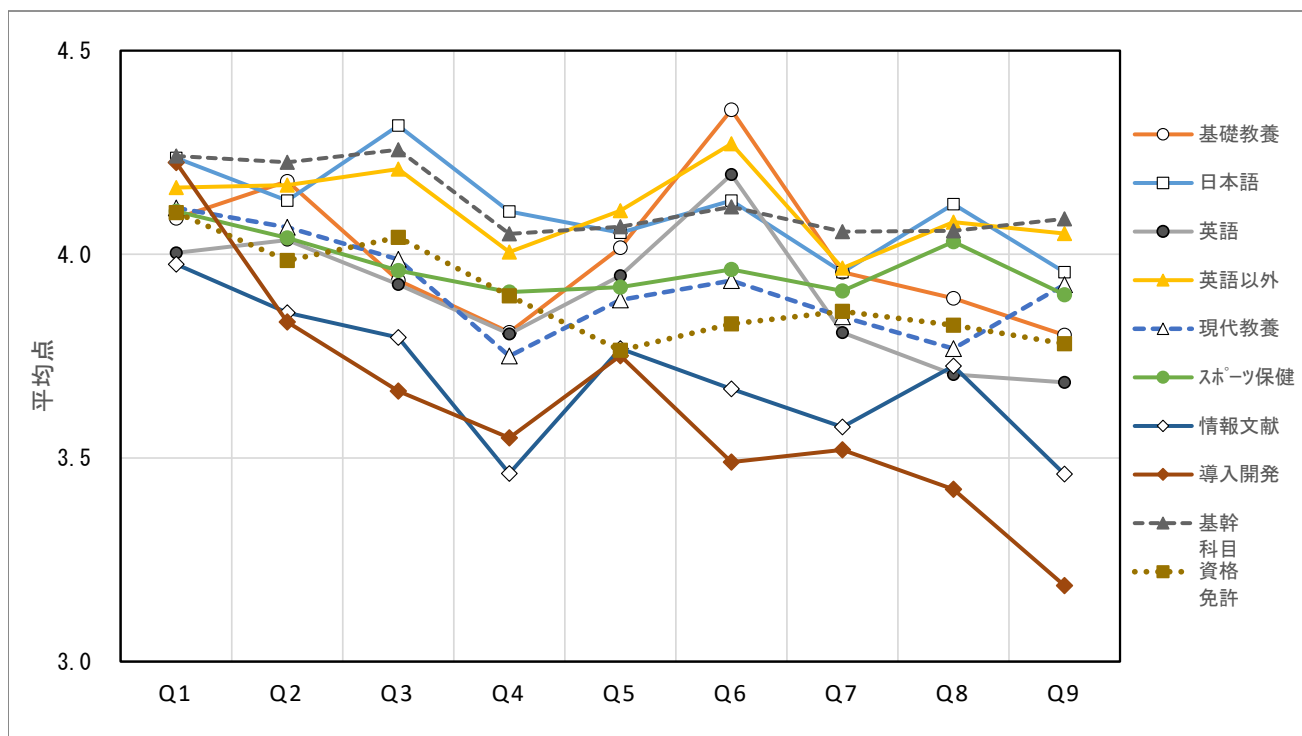
### ②質問項目別に見る平均

【表2-2】

設問内容	基礎									基幹科目	資格免許
	基礎教養	日本語	英語	英語以外	現代教養	スポーツ保健	情報文献	導入開発			
1. シラバスの授業への反映	4.09	4.24	4.00	4.16	4.11	4.11	3.98	4.23	4.24	4.10	
2. 成績評価基準の明示	4.18	4.13	4.04	4.17	4.07	4.04	3.86	3.83	4.23	3.98	
3. 学習意義の実感	3.94	4.32	3.93	4.21	3.99	3.96	3.80	3.66	4.26	4.04	
4. 授業内容の分かりやすさ	3.81	4.11	3.80	4.01	3.75	3.91	3.46	3.55	4.05	3.90	
5. 適切な学習環境の保持	4.02	4.05	3.95	4.11	3.89	3.92	3.77	3.75	4.07	3.76	
6. 学生の積極的参加の促し	4.35	4.13	4.20	4.27	3.94	3.96	3.67	3.49	4.12	3.83	
7. 難易度の適切さ	3.96	3.96	3.81	3.97	3.85	3.91	3.58	3.52	4.06	3.86	
8. 知識・技能の獲得と成長の実感	3.89	4.12	3.70	4.08	3.77	4.03	3.73	3.42	4.06	3.83	
9. 授業に対する総合満足度	3.80	3.96	3.69	4.05	3.93	3.90	3.46	3.19	4.09	3.78	

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

### ③質問項目別比較グラフ



### 3. 授業形態別の結果

\* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

\* 授業形態は担当教員の届出によります。

#### ①実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	184	<p>東洋の思想/中国語 I a(中国語 I) /中国語文化入門/地域文化研究 (アジア文化論) /比較文化 (方法) 研究序説/文献講義基礎/キリスト教文化史/日本語学概論/地域文化 (日本) 研究序説/倫理学/倫理学概論/西洋の思想/長崎とキリシタン文化/日本文化史/手話 II/日本文学研究 (文学史) /日本語表現法 I/手話 I a (手話 I) /社会学 I/比較文化研究 (長崎と西欧文化) /認知症の理解 II/相談援助演習 IV/社会福祉/社会的養護/児童家庭福祉/体育科教育法/生涯スポーツ II/スポーツ文化論/福祉人権論/相談援助の理論と方法 III/地域福祉の理論と方法 I/福祉行財政と福祉計画/社会調査の基礎/現代社会と福祉 II/マクロソーシャルワーク/社会保障 I/老人ソーシャルワーク論/高齢者に対する支援と介護保険制度 I/精神保健福祉に関する制度とサービス I/相談援助の理論と方法 I/相談援助/更生保護制度/相談援助の基盤と専門職 I/就労支援サービス/こころとからだのしくみ/医療的ケア/生活支援技術 E/心と身体/健康学/ターミナルケア論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I/生理心理学/心理学入門 I/教育心理学 II/障害者心理 I/心理学研究法/カウンセリング論 I (心理) /心理学実験 II a (応用) /生涯発達心理学 II/産業・組織心理学/人間心理学 I/情報処理中級 A/文献検索法/図書館情報技術論/情報文化論/TOEIC Advanced I/第二言語習得研究/English Reading I/精神分析療法/文献講義/臨床心理学 I/法学/権利擁護と成年後見制度/英文講義 III/文献講義演習 a/英文講義 I/地域文化研究 (英米文化研究特講) /日本語の構造 I/日本語教授法 I/English Seminar III/English Seminar V/Thesis Writing/英語情報コミュニケーション I/英語情報コミュニケーション II/情報処理リテラシー/ドイツ語 I a (ドイツ語 I) /English Writing II/English Seminar I/Academic Writing I /Academic Readings/English Academic Readings I/コミュニケーション入門/キャリアセミナー/Sound Production/English Communication I/TOEIC I/児童英語/英米文学入門 I/情報発信表現論/フレッシュマン・セミナー A (長崎に生きる) /比較教育/保育原理/教育原理 A (教育原理) /生活科教育法/基礎音楽/音楽科教育法/人間関係論 II/心理学 I/発達と学習の心理学 II/発達と学習の心理学 I/モンテッソーリ教育学特論 I/保育者論/教育課程論/教育の基礎理論/基礎造形/図画工作科教育法/造形表現法 a/障害児の心理と教育/子どもと人間関係/教育指導の研究/社会科教育法/教職論/保育内容総論/子どもと環境 I/理科教育法/器楽/音楽基礎理論 I/英米文学研究 (文学史) /子どもの食と栄養 I/家庭科教育法/家政学概論/リトミック I/マーケティング論 I/障害の理解 II/Grammar/ジェンダー論/数量と図形の理解/English Reading III/情報検索/情報サービス論/数学の基礎/児童臨床心理学/Grammar II/教育指導の研究 II/児童文化研究/障害児保育/比較文化研究 (長崎の美術工芸) /乳児保育 I/図書館概論/学校経営と学校図書館/日本史/女性学入門/自然地理学 I/地域文化研究特論/中国語 I a(中国語 I) /日英語対照研究/英語情報データベース/英語学概論 I/韓国語 I a (韓国語 I) /スペイン語 I a (スペイン語 I) /博物館教育論/学習指導と学校図書館/人文地理学/医学一般 I/体育あそびの研究 a/国語概論/子どもの保健 I a/博物館資料論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III/Business English/英語文化入門/社会心理学/情報メディアの活用/子どもの造形 II/造形表現法 b/子どもの音楽 II/音楽表現法 b/福祉レクリエーション論/精神保健の課題と支援 I/保健医療サービス/日本の宗教/教育課程論 II/心理検査法 I/経済学/韓国語 I a (韓国語 I)</p>
演習系	4	相談援助演習 II/統計情報処理演習/プログラミング演習 I/英語語彙演習
実技系	1	生涯スポーツ I
実習系	3	事前事後指導/基礎介護実習指導/博物館実習
ピアノ	2	ピアノ実践法/ピアノ基礎技法

### 3. 授業形態別の結果

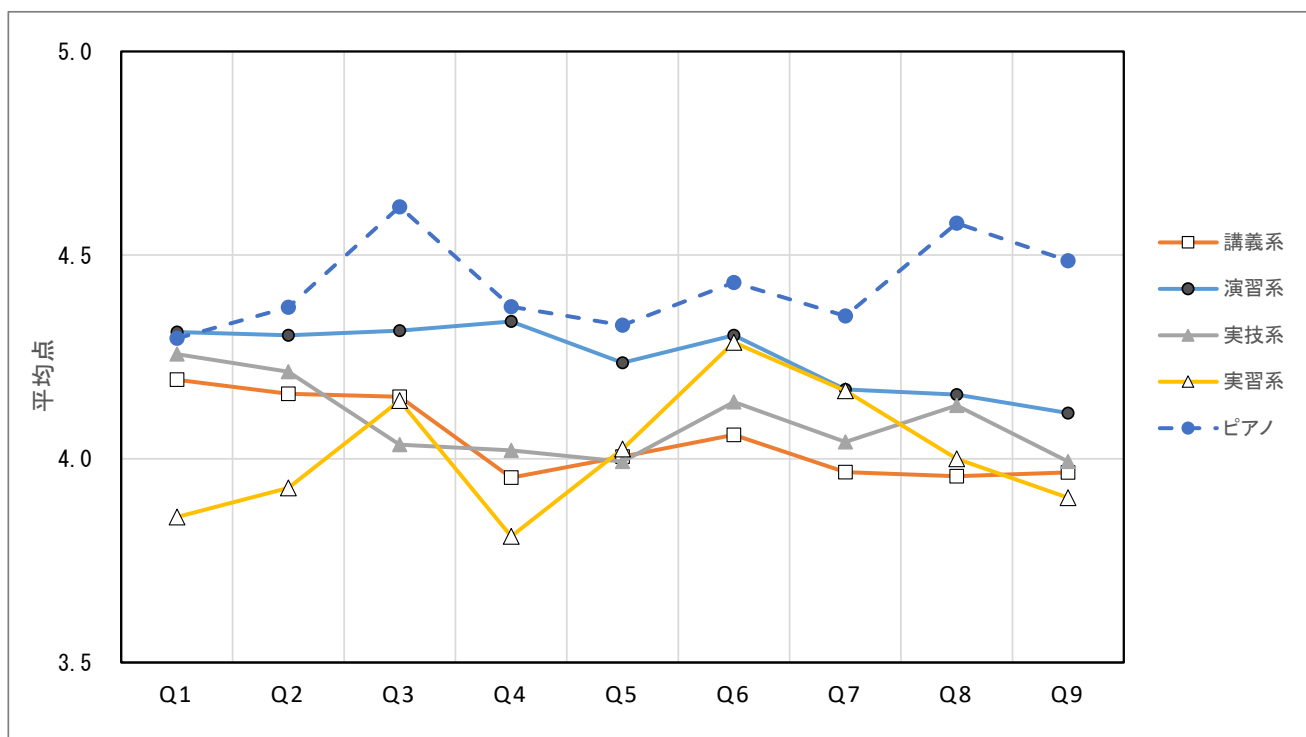
②質問項目別に見る平均

【表3-2】

設問内容		講義系	演習系	実技系	実習系	ピアノ
1.	シラバスの授業への反映	4.19	4.31	4.26	3.86	4.30
2.	成績評価基準の明示	4.16	4.30	4.21	3.93	4.37
3.	学習意義の実感	4.15	4.31	4.03	4.14	4.62
4.	授業内容の分かりやすさ	3.95	4.34	4.02	3.81	4.37
5.	適切な学習環境の保持	4.01	4.24	3.99	4.02	4.33
6.	学生の積極的参加の促し	4.06	4.30	4.14	4.29	4.43
7.	難易度の適切さ	3.97	4.17	4.04	4.17	4.35
8.	知識・技能の獲得と成長の実感	3.96	4.16	4.13	4.00	4.58
9.	授業に対する総合満足度	3.97	4.11	3.99	3.90	4.49

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③質問項目別比較グラフ



## 4. 受講者数別の結果

\* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

\* 授業形態は担当教員の届出によります。

### ①実施科目

【表4-1】

授業形態	実施数	実施科目
20名以下	44	中国語文化入門/地域文化研究(アジア文化論)/文献講読基礎/事前事後指導/手話Ⅱ/生涯スポーツⅡ/マクロソーシャルワーク/精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ/こころとからだのしくみ/医療的ケア/生活支援技術E/基礎介護実習指導/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ/TOEICAdvancedⅠ/第二言語習得研究/文献講読/英文講読Ⅲ/文献講読演習a/日本語教授法Ⅰ/EnglishSeminarⅢ/ThesisWriting/英語情報コミュニケーションⅡ/ドイツ語Ⅰa(ドイツ語Ⅰ)/AcademicReadings/プログラミング演習Ⅰ/比較教育/教職論/障害の理解Ⅱ/ジェンダー論/GrammarⅡ/比較文化研究(長崎の美術工芸)/乳児保育Ⅰ/日本史/中国語Ⅰa(中国語Ⅰ)/博物館実習/日英語対照研究/韓国語Ⅰa(韓国語Ⅰ)/博物館教育論/体育あそびの研究a/博物館資料論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ/情報メディアの活用/日本の宗教/教育課程論Ⅱ
21名以上50名以下	99	中国語Ⅰa(中国語Ⅰ)/比較文化(方法)研究序説/キリスト教文化史/地域文化(日本)研究序説/倫理学/倫理学概論/西洋の思想/日本文化史/日本文学研究(文学史)/日本語表現法Ⅰ/手話Ⅰa(手話Ⅰ)/認知症の理解Ⅱ/相談援助演習Ⅳ/社会的養護/生涯スポーツⅠ/体育科教育法/スポーツ文化論/福祉人権論/地域福祉の理論と方法Ⅰ/老人ソーシャルワーク論/相談援助演習Ⅱ/相談援助の理論と方法Ⅰ/更生保護制度/相談援助の基盤と専門職Ⅰ/就労支援サービス/ターミナルケア論/教育心理学Ⅱ/障害者心理Ⅰ/心理学実験Ⅱa(応用)/情報処理中級A/情報文化論/EnglishReadingⅠ/精神分析療法/英文講読Ⅰ/地域文化研究(英米文化研究特講)/日本語の構造Ⅰ/EnglishSeminarⅤ/英語情報コミュニケーションⅠ/EnglishWritingⅡ/EnglishSeminarⅠ/AcademicWritingⅠ/EnglishAcademicReadingsⅠ/コミュニケーション入門/キャリアセミナー/SoundProduction/EnglishCommunicationⅠ/TOEICⅠ/英米文学入門Ⅰ/統計情報処理演習/情報発信表現論/教育原理A(教育原理)/生活科教育法/基礎音楽/音楽科教育法/モンテッソーリ教育学特論Ⅰ/教育課程論/基礎造形/図画工作科教育法/造形表現法a/障害児の心理と教育/教育指導の研究/社会科教育法/子どもと環境Ⅰ/理科教育法/器楽/ピアノ実践法/子どもの食と栄養Ⅰ/家庭科教育法/家政学概論/リトミックⅠ/マーケティング論Ⅰ/Grammar/EnglishReadingⅢ/情報検索/情報サービス論/数学の基礎/児童臨床心理学/教育指導の研究Ⅱ/児童文化研究/図書館概論/学校経営と学校図書館/自然地理学Ⅰ/地域文化研究特論/英語情報データベース/英語学概論Ⅰ/スペイン語Ⅰa(スペイン語Ⅰ)/学習指導と学校図書館/BusinessEnglish/英語文化入門/子どもの造形Ⅱ/造形表現法b/子どもの音楽Ⅱ/音楽表現法b/福祉レクリエーション論/保健医療サービス/心理検査法Ⅰ/経済学/韓国語Ⅰa(韓国語Ⅰ)/英語語彙演習
51名以上100名以下	39	日本語学概論/長崎とキリシタン文化/社会学Ⅰ/比較文化研究(長崎と西欧文化)/社会福祉/相談援助の理論と方法Ⅲ/福祉行財政と福祉計画/社会調査の基礎/現代社会と福祉Ⅱ/社会保障Ⅰ/高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ/相談援助/心と身体/健康学/生理心理学/心理学入門Ⅰ/心理学研究法/カウンセリング論Ⅰ(心理)/生涯発達心理学Ⅱ/産業・組織心理学/人間心理学Ⅰ/文献検索法/図書館情報技術論/臨床心理学Ⅰ/法学/権利擁護と成年後見制度/情報処理リテラシー/人間関係論Ⅱ/心理学Ⅰ/発達と学習の心理学Ⅱ/子どもと人間関係/保育内容総論/英米文学研究(文学史)/数量と図形の理解/障害児保育/人文地理学/医学一般Ⅰ/国語概論/社会心理学/精神保健の課題と支援Ⅰ
101名以上	12	東洋の思想/児童家庭福祉/児童英語/フレッシュマン・セミナーA(長崎に生きる)/保育原理/発達と学習の心理学Ⅰ/保育者論/教育の基礎理論/音楽基礎理論Ⅰ/ピアノ基礎技法/女性学入門/子どもの保健Ⅰa

## 4. 受講者数別の結果

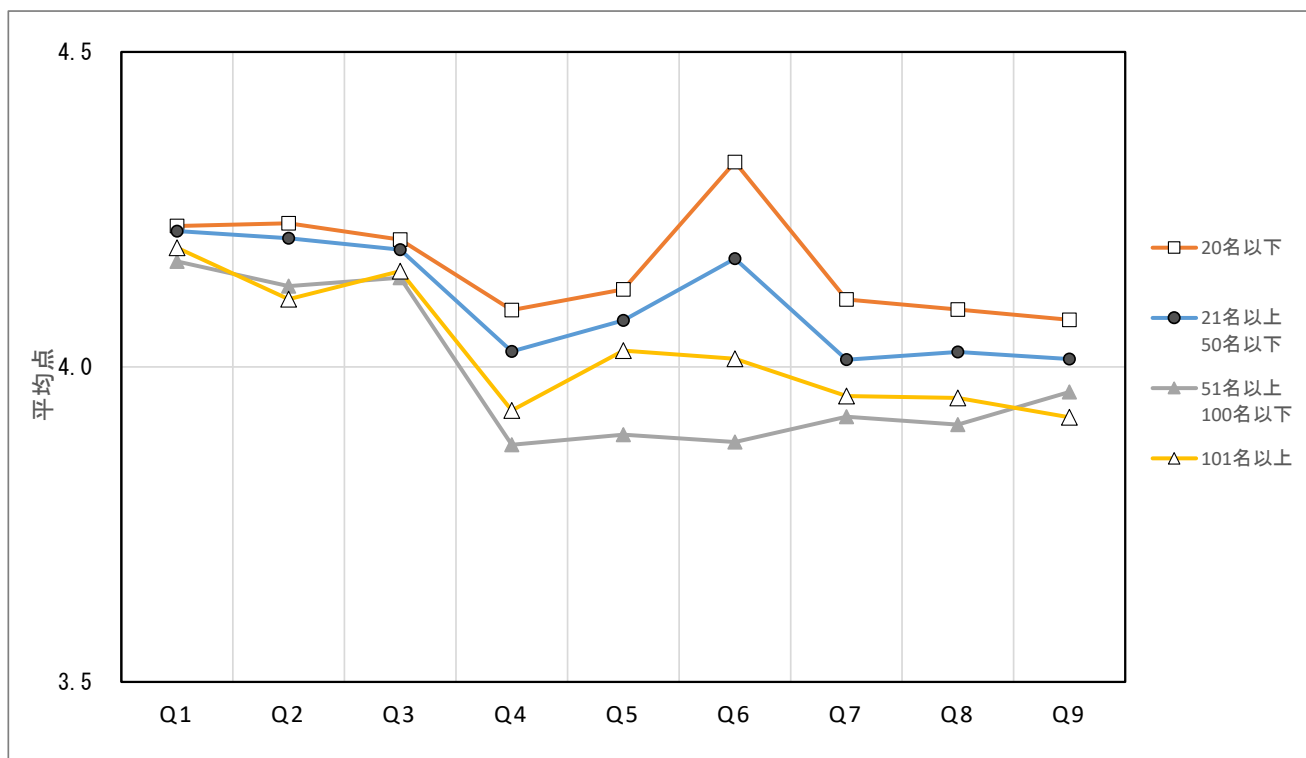
### ②質問項目別に見る平均

【表4-2】

設問内容		20名以下	21名以上 50名以下	51名以上 100名以下	101名以上
1.	シラバスの授業への反映	4.22	4.22	4.17	4.19
2.	成績評価基準の明示	4.23	4.20	4.13	4.11
3.	学習意義の実感	4.20	4.19	4.14	4.15
4.	授業内容の分かりやすさ	4.09	4.02	3.88	3.93
5.	適切な学習環境の保持	4.12	4.07	3.89	4.03
6.	学生の積極的参加の促し	4.33	4.17	3.88	4.01
7.	難易度の適切さ	4.11	4.01	3.92	3.95
8.	知識・技能の獲得と成長の実感	4.09	4.02	3.91	3.95
9.	授業に対する総合満足度	4.07	4.01	3.96	3.92

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

### ③質問項目別比較グラフ





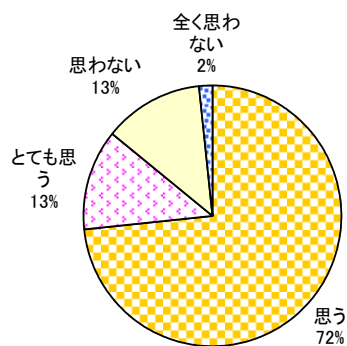
## 5. 先生のアンケートから

### 2016(平成28)年度 前期 「学生による授業アンケート結果」フィードバックアンケート集計結果

1. 回答数 専任教員 22名(回答率38%) 非常勤講師 35名(回答率59%)

#### 2. 授業アンケート結果

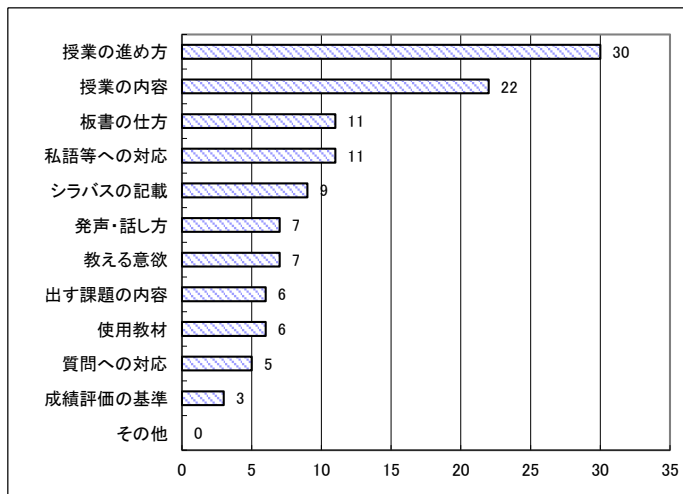
問1 授業アンケートの結果は授業改善につながると思うか？



	全体	常勤	非常勤
とても思う	7	3	4
思う	41	14	27
思わない	7	4	3
全く思わない	1	1	0

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点の改善につながると思うか？(複数回答可)



◆その他の改善点として「環境を保つ」の意見がありました。

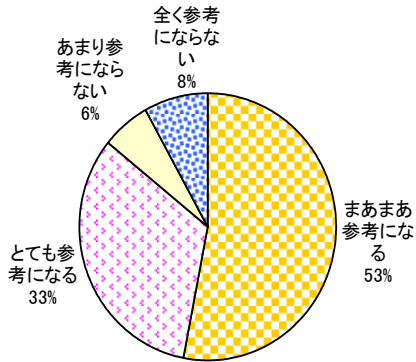


問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

問3 授業アンケートが改善につながらないと思う理由は？（複数回答可）

- 学生に評価能力がない
- 自分の努力ではどうにもならない事情がある
- 質問項目がわかりにくい

問4「自由記述アンケート」は授業の改善の参考になると思うか？



	専任教員	非常勤講師
とても参考になる	1	3
まあまあ参考になる	2	9
あまり参考にならない	0	2
全く参考にならない	2	0

※無回答 8名

◇『参考になる』と回答したご意見の中には・・・

「授業に関する学生の声は、自分が気づかない課題の指摘をしてくれ参考になります。特にこちらがよいと思って授業したことが学生の役に立っていないことは、気づけて良かったです。」

「学生の客観的視点を知る機会になるから」などの意見がありました。

◆『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「自由記述欄の記入が少ないのは、全科目でアンケートを行う負担からか。とにかく参考になる情報が得られなかった。」などの理由があげられていました。